

支援プログラム



1. 社会生活能力検査の実施



○社会生活能力検査を初期アセスメントとして実施し、社会生活能力のおおよその発達を調べます。

○検査結果を指導支援に役立て、社会生活能力の発達に合わせた支援を提供します。

○定期的(1~2年に1回)にアセスメントを実施し、発達を確認しながら、自立や就労においてスキルの獲得を目指します。

2. 総合的な支援の提供

① 「健康・生活」

○ 身辺自立スキルの獲得

着替えや片付けなど、経験の有無や運動機能の発達を評価したり、身辺自立としての能力を獲得させるべきかを見極めながら支援します。



② 「運動・感覚」



○移動スキルの獲得

運動機能と交通ルールや公共機関の知識（信号や標識など）、自主性（ひとりで行うなど）、どの要素につまずいているのか、その背景要因を明確にし、それぞれの子供たちに身に付けられることが求められる能力を獲得させます。



○作業スキルの獲得

運動機能に困難のある子供は、身近自立スキルを参考にしたり、認知や言語アセスメントを行いながら、つまずきの背景要因を明確にしながらから支援を行います。

③ 「言語・コミュニケーション」



○コミュニケーションスキルの獲得

言葉での理解や表現の力、文字の読み書きに関する力はどの程度であるのか評価しながら、必要な場面で適切に表現できるよう支援します。

④ 「人間関係・社会性」



○集団参加スキルの獲得

対人意識、集団生活の中での勝敗やルールの理解と順守、役割の遂行に関する能力を的確に評価しながら支援します。

⑤ 「認知・行動」

○自己統制スキルの獲得

意志や感情の表出をうまくコントロールできるように、情緒面に配慮したり、気持ちを表出しやすいような雰囲気を作ったり、表出手段を増やしていけるように支援します。

本人の理解や思考パターンも尊重しながら、修正や変更に応じる力を育てていけるように支援します。



3. 主な支援内容

子供たちや家族が安心して過ごせるように…



- ①見える化…「今なにをすべきか？」をわかりやすく提示
- ②介入…一人ひとりに合わせた丁寧な支援
- ③運動・学習・社会性の土台作り…感覚統合あそび
- ④褒める…モチベーションup、自信につなげる
- ⑤家族支援…保護者の後方支援
- ⑥社会参加に向けた取組…様々な体験活動や異年齢交流

①見える化



「スケジュール」
その名の通り「予定」を示します。
見通しを視覚的にもたせることで
安心して活動に取り組むことが
できます。



「エリアを分ける」
気が散ってしまうなどの人に
有効な支援方法です。
活動に支障がある刺激を
制限することで、活動に集中
しやすくします。



「見て理解できる提示」
目で見てすぐ理解できる提示を出します。

②望ましい行動を引き出すための介入



手取り足取りの誘導から声掛けによる指示へ

③運動・学習・社会性の土台作り



感触あそび



粗大運動



微細運動



公園あそび

遊びながら楽しみながらできることを増やします。

④褒める



できない、わからない行動にばかり目を向けず、できている行動に焦点をあてて、ほめるなど「注目のパワー」を効果的に使い、自発的な行動を増やし自信につなげます。



⑤ 家族支援



子供の特性や発達の各段階に応じて、子供の「育ち」や「生活」を安定させることを基本に丁寧に取り組みます。

集団での懇談、個別での相談など家族の状況に応じて様々な支援形態を組み合わせながら支援しています。

⑥ 社会参加に向けた取組



職場体験



異年齢とスポーツ交流



兄弟姉妹と一緒に製作体験

4. 具体的な活動内容(1)



① SST(ソーシャルスキルトレーニング)

…社会で人と人との関わりながら生きていくためのスキルを身に付ける訓練をします。

② 製作活動、巧緻動作訓練

…創造力を育てたり、達成感や成就感を獲得させます。また、細かな作業や力加減の練習をすることで手指の巧緻性を獲得します。

SST(ソーシャルスキルトレーニング)



① 「**タッチの種類**」…人とうまく関わる基礎を教えます。

○家族・友だち・知っている人・知らない人との関係を見える化
相手によって、関わり方がちがうことを教えます。

○人によってパーソナルスペースがちがうことを教え、周囲の人と適切な距離感を保ちながら関われるよう支援します。

SST(ソーシャルスキルトレーニング)

②「こんなとき、どうする？」

…コミュニケーション能力を向上させます。

○遊びに入りたい時、困った時、相手を怒らせてしまった時など、
どうしたらいいのか?なんて言ったらいいのか?対処法を教えます。



SST(ソーシャルスキルトレーニング)

①「怒りのコントロール」

…自分の感情や行動をうまくコントロールする力を身に付けます。

○怒りの消火法

怒りから「離れる」ことを教えます。

怒りを安全に吐き出す方法を教えます。



SST(ソーシャルスキルトレーニング)

②「怒りのコントロール」

…自分の考えや気持ちをうまく表現する力を身に付けます。

○自分の怒りを言葉で伝える練習をします。

「なにがあったのかな?」「どんな気持ちがあったのかな?」

「どうしてほしかったのかな?」

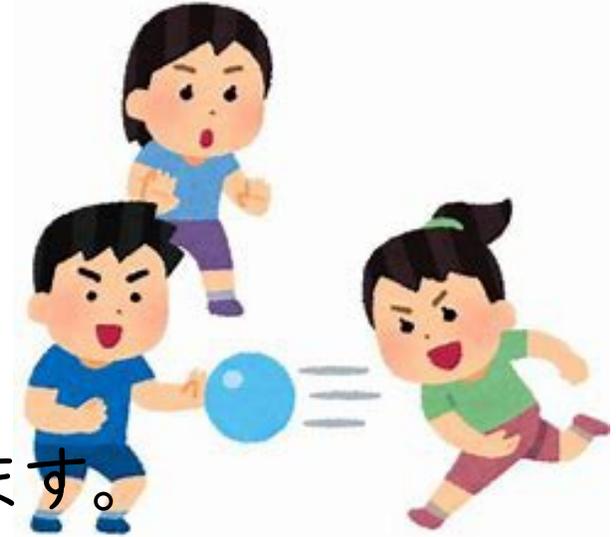
言葉で伝えることで、大人が助けてくれることを学びます。



4. 具体的な活動内容(2)

③ 集団遊び(ゲーム)

…ルールのある遊びを通して自立心や協調性を育みます。



④ 手段的日常生活動作訓練

…日常生活で行う動作のなかで少し複雑になる動作を身に付けます。
(買い物、お金の使い方、公共交通機関の利用、外出のマナーなどを学びます。)

手段的日常生活動作訓練

①買い物体験

…生活に役立つ力を育み、社会参加へつなげます。

○電卓の使い方を練習します。

○他者からの買い物依頼に応えられるよう練習します。

○金種を理解、お金にふれる体験をします。



手段的日常生活動作訓練

①公共交通機関の利用

…利用体験することで、外出に対する不安を軽減し、自主的に外出できる力を身に付けます。

○交通機関の知識やマナーを学びます。

○時間を意識した行動がとれる練習をします。

○自分の判断で行動できる力を育てます。



4. 具体的な活動内容（3）

⑤季節の活動…季節感を感じる体験をします。

⑥余暇活動

…自分の好きなことを見つけて遊んだり、同年代の友達と積極的に交流する機会を設けます。集団活動で学んだことを「般化」させ、成功体験を積み重ね、自信につなげます。



4. 活動内容(4)



⑦**療育座談会**…お悩み相談、ペアレントトレーニングを行います。
(枠の限りがありますが、個別カウンセリングも行っています)

⑧**職場体験などの体験活動、スポーツ交流**

…地域からの分離防止のため、学齢期に必要な「地域」との結びつきを意図的に組み込み、様々な人と触れ合う機会を作っています。

ペアレントトレーニング

ペアレントトレーニングとは、子育てに悩んでいる保護者が子供の行動への対応を学ぶことです。

子供の性格ではなく、困った行動に着目し、行動の改善を目指すことがポイントです！



モチベーションをあげるサイクル

